

泉消防署からのお知らせ

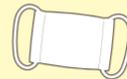


熱中症の時季がきた！熱中症にご注意を！

令和元年5月1日から9月30日までの熱中症による市内救急搬送人数は1,244人で、そのうち、泉区内では60人が医療機関へ搬送されました。熱中症はこの時期、いつでも、どこでも、だれでもかかる危険性があります。

適宜マスクをはずしましょう

気温・湿度の高い中でのマスクの着用は熱中症につながります。屋外で人と十分な距離(2m以上)を取れるときは、マスクをはずすようにしましょう。



熱中症予防ポイント

● 扇風機やエアコンで、涼しいと感じる程度に室内の温度を設定する。



● 定期的にスポーツドリンクや経口補水液を飲んで水分補給する。



● 日頃から運動し、暑さに負けない体をつくる。



熱中症かなと思ったら

熱中症の症状(めまいや顔のほてり、立ちくらみ)が出たら、まず、涼しい場所へ移動する、衣服を緩める、身体を冷やす、水分を補給するといった行動をとってください。それでも症状が改善されない場合は、「#7119」への相談や、「横浜市救急受診ガイド」を活用し、緊急性を判断してください。

横浜市救急相談センター

急な病気やけがで受診の相談をしたいときには...

☎ #7119

または ☎ 045-232-7119

横浜市救急受診ガイド

急な病気やけがで病院に行くか、救急車を呼ぶか迷ったときには、パソコンやスマートフォンで「横浜市救急受診ガイド」にアクセスし、該当する症状を選択すると、緊急性や病院受診の必要性についての判定結果を確認できます。

横浜市救急受診ガイド 検索



泉消防署では、「現在の救急情勢」や「急なけがや病気への対応」についての「救急講座」を実施しています。受講を希望される団体は、泉消防署警防課までお問い合わせください。



☎ 泉消防署警防課救急係 ☎ 801-0119

地区連長さんにお聞きしました

佐野 瞳さん (平成25年5月から上飯田団地連合自治会長)

支え合い、誰もが安心して暮らせる団地を

泉区は12の地区連合自治会町内会があります。地域活動に精力的に取り組んでいる各地区連合自治会町内会長(地区連長)にインタビューします。

－自治会活動を始めるきっかけは？－

上飯田団地には昭和48年に引っ越して来ました。上飯田団地連合自治会は現在11自治会ですが、当時は24自治会もあり、若い人も多く、自治会対抗のバレーボール大会が開かれるなど大変活発でした。自治会活動を始めたのは、昭和56年に家庭防災員になり、その委嘱式の際に委嘱状を代表で受け取るよう頼まれ、その流れで地区代表になったのがきっかけでした。その後は、環境事業推進委員や青少年指導員などを経験し、平成16年から自治会長を続けており、平成25年5月には、上飯田団地連合自治会長になりました。

－地区連合自治会長になって思ったことは？－

地区連長になるまでに、自治会長をはじめ、数多くの役員をしてきたこともあり、不思議と大変さは感じませんでした。ただ、泉区の各地区の地区連長さんたちが集まる場では、女性が私だけということもあり不安や戸惑いが少しありましたが、かねてお付き合いのあった地区連長さんや地域の方々にも助けていただき、これまで積み重ねてきた人とのつながりを実感しました。

－力を入れていきたい今後の取組は？－

上飯田団地は泉区内でも高齢化率の高い地区のため、高齢者の見守り活動が課題になっています。一人暮らしの方が年々増えている中、孤立してしまう方を一人でも減らしていくため、誰もが参加しやすく、参加したいと思ってもらえる活動に今後も取り組んでいきたいです。

－地域の方へメッセージ－

顔の見える関係を大事にし、地域全体で支え合い、何歳になっても元気で楽しく過ごせる、そんな団地をみんなで築いていきたいと思います。



▲佐野 瞳会長

☎ 地域活動支援担当 ☎ 800-2391 ☎ 800-2507